



武蔵野美術大学公開講座 2017

ものづくりワークショップ

練り込み技法で作る デザートボウル

親子の参加者大募集！

8/5(土) 8/12(土)

武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス

陶磁器の人気技法の一つである練り込みを使って、デザートボウルを制作します。手で土の感触を楽しみながら装飾をし、釉薬を塗って、窯詰めを体験していただけます。自分自身の手で、普段の生活で使うことのできる器をつくりましょう。

日時：2017年8月5日(土)、8月12日(土)
[全2回] 13:00-16:00(受付:12:30)

場所：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス
14号館 陶磁工房

対象：小学生(3年生～6年生)と保護者
(大人一名での受講も可能です)

定員：20名

備考：汚れてもいい服装でお越しください

主催：武蔵野美術大学
後援：小平市教育委員会

お問い合わせ：

武蔵野美術大学 法人企画グループ 社会連携チーム
tel: 042-342-7945
e-mail: mau-kouza@musabi.ac.jp

MAU

武蔵野美術大学公開講座 2017

武蔵野美術大学では、社会貢献の一環として、実技系ワークショップや教養系講座など、広く地域の方々に向けた公開講座を開講しています。今回の講座は、2016年4月に新設されたばかりの新デザイン工房棟（14号館）にある工房で行われ、講座の指導は本学の教員が行い、現役の学生も制作のサポートにあたります。本講座を通じて武蔵野美術大学を身近に感じ、美術大学の学びの広さを知っていただければと願っています。



練り込み技法の様子



作業場の様子

練り込み技法で作るデザートボウル

陶磁器の人気技法の一つである練り込みを使って、アイスクリームやヨーグルトなどに合うデザートボウルを作ります。練り込みは、中国の古い技法です。数種類の色の異なる土を混ぜ合わせ、マーブル模様を作ったり、ちぎったり、切り抜いたりした土を貼り付け、手軽に装飾を楽しむことができます。初回は、技法説明の後、粘土板に模様を作り、型で成形します。2回目は、釉薬を施して窯詰めを体験します。できあがった器は、後日ご自宅にお送りしますので、普段の生活でもお使いいただけます。小学生のお子さんや陶芸が初めての方でも楽しんで作ることができますので、奮ってご参加ください。



講師プロフィール

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科
西川聡教授

1991年より個展を中心に作品を発表。同時にテーブルウェアの企画、デザインやホテル、レストランの食器やオーナメントを手がける。2008年工芸都市高岡クラフトコンペティション優秀賞、2000年奨励賞。1999年クラフト全国公募札幌優秀賞、北の菓子器展奨励賞。2013年、本学工芸工業デザイン学科教授に着任。

申込み方法

本学 web サイト内にある「公開講座申し込みフォーム」よりお申し込みください。

<http://www.musabi.ac.jp/collaboration/community/lecture/>

受講料(教材費・郵送費込)

- (1) 8,000 円 [定価・一般]
- (2) 6,000 円 [親子割]

※ [親子割] は、小学生(3年生～6年生)1名、大人1名のセット価格です。お連れの方小学生が2名以上の場合は、追加1名につき2,000円を徴収します。

※ 1名につき2つ(親子の場合は4つ)制作いただけます。

お問い合わせ先

武蔵野美術大学 法人企画グループ 社会連携チーム
tel: 042-342-7945
e-mail: mau-kouza@musabi.ac.jp

アクセス

武蔵野美術大学鷹の台キャンパス
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

- a. 西武国分寺線「鷹の台」駅下車 徒歩 18 分
JR 中央線から「国分寺」駅乗換、「東村山」行(2 駅目)
西武新宿線から「東村山」駅乗換、「国分寺」行(2 駅目)
- b. 西武バス「武蔵野美術大学」停留所 下車すぐ
JR 中央線「国分寺」駅北口徒歩 3 分、
「国分寺駅北入口」停留所より「武蔵野美術大学」行
または「小平営業所」行に乗車(バス所要時間: 約 20 分)

アクセスマップ

